



AMG上尾中央総合病院 内科専門研修プログラム

専攻医募集案内

上尾中央総合病院

新たな時代の地域医療を創り、 高度な医療を提供し患者様としっかりと 向き合えるように。

内科医の道を選ぶ皆さんへ

内科は、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、血液内科、脳神経内科など、対応する症状や臓器によって細分化されており、近年においては生活習慣の変化にともなって糖尿病内科などの診療科も設置されるようになりました。また、あらゆる病気や怪我に総合的に対応する総合内科といった診療科もあります。当院でも医療界の動向に応じ、内科の細分化および総合診療科の設置等、近年の変化に応じた診療体制を構築しております。

内科は、他の診療科での治療が必要と判断した場合は患者を他の診療科へ紹介するなど、患者と他の診療科を結ぶ役割を持つ重要な診療科です。また地域医療にとって欠かせない存在であり、地域医療に対する貢献度の高さも内科医のやりがいの一つではないでしょうか。

当院は埼玉県および上尾市の基幹病院として、高度な医療を提供する医療機関であり、また地域医療支援病院として地域医療の発展に取り組む役目を担っている医療機関です。上記に申し上げた内科医としてのやりがいを十分に経験できる環境が整っており、AMG上尾中央総合病院内科専門研修プログラムによって優れた内科専門医に育てて頂けることを確信いたします。



上尾中央総合病院
院長 徳永 英吉

プログラム統括責任者より専攻医の皆さんへ

当院の内科専門研修プログラムは地域密着型の一般総合病院としての利点をフルに活かして作成されています。その特徴は、1) 総合診療科の研修を積極的かつ有効的に取り入れたこと、2) 各専門領域の研修先選択の自由度が高いこと、にあります。具体的には、通常のコースとして幅広い内科診療の効率的な研修を可能とする目的で、総合診療科を1年目*1に設定しました。地域連携病院研修先には各自のニーズに合った連携施設での研修の場を用意しました。各専門領域の研修は自由選択にしております。また、サブスペシャリティ領域が決まっている専攻医には、1年次から専門研修が受けられるコース*2も用意しました。研修先の選択は今後の医師としての人生を左右することになります。様々なサポート体制が充実しているAMG上尾中央総合病院で有意義な研修生活を送ってください。



上尾中央総合病院
内科専門研修プログラム
統括責任者
一色 高明

*注1) 状況により順番を調整する場合があります。

*注2) サブスペシャリティの専門医制度が施行される領域が対象です。



病院の特徴

当院は1964年12月に11床の上尾市立病院を前身として設立し、これまで地域住民の信頼と支持を得て発展してきました。現在では733床の急性期医療を中心とした総合病院となり、また2015年12月には地域医療支援病院の指定を受け、上尾市のみならず埼玉県県央保健医療圏の基幹病院として重要な役割を果たしています。

また、首都圏を中心に28病院を有する上尾中央医科グループの中核として、積極的に医療の質の向上に取り組むと共に、患者本位の医療サービスを提供することを心がけ、日本医療機能評価、プライバシーマークなどの第三者評価を積極的に受審しています。

さらに、高度最新医療機器の導入も積極的に行っており、2013年にはダビンチサージカルシステムの導入、2014年にはハイブリッド手術室を新設し、また2015年3月にはTAVIを導入するなど最先端の医療にも取り組んでいます。

最後に、当院は基幹型臨床研修指定病院であり、2015年には看護師の特定行為に関わる研修についての指定研修機関(特定行為13区分)の認可、2016年には臨床修練等指定病院の指定を得ています。また毎年、指導医のための教育ワークショップや緩和ケア研修会を主催しており、教育病院としても積極的に取り組んでいるとともに、2017年には中村記念講堂を新設し教育および研究環境の充実を図っています。



研修スケジュール

目指すべき医師像

- 1 … 内科系初期救急医療の現場で適切に対応できる医師
- 2 … 総合内科的基盤をもとにサブスペシャリティ領域の診療に当たることができる医師
- 3 … 総合内科医として病院診療や地域医療に貢献できる医師

専門医取得後、いずれの領域に重きをおいても研修・研鑽を継続できるように上記すべてを兼ね備えた専門医を目指す。

必修科目並びに選択可能な科目

■必修科目

- 総合診療科…………… 最低6ヵ月
- 地域医療病院…………… 12ヵ月以上
- 救急当直研修…………… 平均月4回程度

※原則1年次に上尾中央総合病院主催のJMECCを受講する。

■選択科目

- 上尾中央総合病院
(総合診療科、循環器内科、消化器内科、
脳神経内科、糖尿病内科、腎臓内科、血
液内科、腫瘍内科)

最短ローテートは2ヵ月とし、毎年ローテート表を作成する。

ローテーション例

※右表参照

専攻医1年次は、基幹施設の上尾中央総合病院にて最低6ヵ月の専門研修(総合診療科)を行います。なお、専攻するサブスペシャリティ領域が決定している医師については、サブスペシャリティ重点研修タイプとして、3年次に当該診療科の研修を重点的に選択することが可能です。また、相談の上、総合診療科の研修期間中から一定のルールの下で当該診療科の検査治療等に参加することもできます。

専攻医毎に希望・将来像、研修達成度およびメディカルスタッフによる360度評価(内科専門研修評価)などを基に、専門研修(専攻医)2年次の研修施設を調整し決定します。病歴提出を終える専門研修(専攻医)3年次の1年間は基幹施設、連携施設のいずれかで専攻医の希望する専門研修を行います。

なお、専攻医の人数等の事情により研修の順が希望通りにならない場合があります。

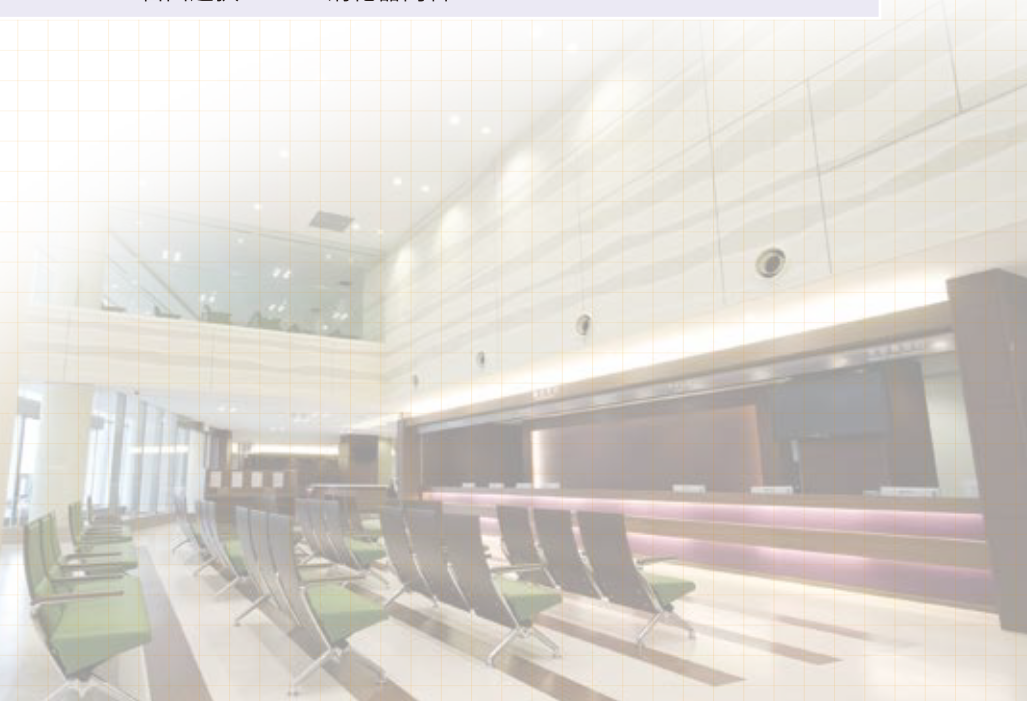


■専門内科を多数ローテートする場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	総合診療科						自由選択					
							消化器内科			循環器内科		
2年次	地域医療						連携施設					
3年次	自由選択											
	血液内科		腎臓内科		脳神経内科		糖尿病内科		腫瘍内科		連携病院	

■サブスペシャリティ重点研修タイプ 例：消化器領域を専攻する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	自由選択			消化器内科			総合診療科					
2年次	地域医療						連携施設					
3年次	自由選択						消化器内科					



基幹施設概要

名称：医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

所在地：埼玉県上尾市柏座1-10-10

院長：徳永 英吉

設備：ハイブリッド手術室

手術支援ロボット ダビンチXi:2台、
CT(マルチスライス256列1台、64列2台)、
血管造影装置(パイプレン):3台、
MRI(3.0T:2台、1.5T:1台)、RI:2台、
一般撮影:7台、X線TV:6台、
骨密度測定装置:2台、腎尿結石破碎装置、
リニアック:1台、他

基幹施設の診療科目

内科/循環器内科/消化器内科/脳神経内科/糖尿病内科/膠原病内科/
腎臓内科/血液内科/呼吸器内科/呼吸器腫瘍内科/肝臓内科/アレルギー疾患内科/感染症内科/腫瘍内科/緩和ケア内科/心療内科/小児科/産婦人科/外科/整形外科/脳神経外科/心臓血管外科・心臓外科/
心臓血管外科・血管外科/消化器外科/肝臓外科/乳腺外科/呼吸器外科/
気管食道外科/肛門外科/内視鏡外科/小児外科/泌尿器科/女性泌尿器科/耳鼻いんこう科/頭頸部外科/眼科/形成外科/美容外科/皮膚科/
麻酔科/救急科/放射線診断科/放射線治療科/病理診断科/臨床検査科/リハビリテーション科/歯科口腔外科/総合診療科(院内標榜)/
消化管内科(院内標榜)/臨床遺伝科(院内標榜)

アクセスマップ

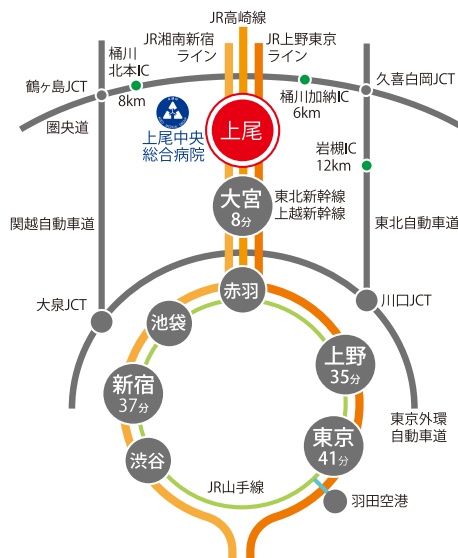
上尾駅からのご案内 -----> 上尾駅より徒歩3分

- 【電車でお越しの方】 JR高崎線 上尾駅西口より徒歩3分
- 【市内循環バスでお越しの方】 “ぐるっとくん”「上尾中央総合病院」停留所下車
- 【お車で越しの方】 駐車場あり

※駐車場(有料)の台数には限りがございますので、できる限り公共交通機関でご来院頂きますようお願い致します。

交通のご案内

- 大宮から JR高崎線:約8分
- 上野から JR高崎線:約35分
- 新宿から JR湘南新宿ライン:約37分
- 東京から JR上野東京ライン:約41分



医療法人社団 愛友会

上尾中央総合病院

〒362-8588 埼玉県上尾市柏座1-10-10
TEL.048-773-1111(代表) FAX.048-773-7122

URL <https://www.ach.or.jp>

担当：人事課秘書係(臨床研修担当)

Mail: ishi_jinji@ach.or.jp

2024年4月～



プログラムの特徴

01 概要

AMG上尾中央総合病院内科専門研修プログラム(以下、本プログラム)は、埼玉県県央医療圏の急性期医療を担う上尾中央総合病院を基幹施設として、埼玉県・東京都・千葉県・福岡県・山梨県・沖縄県にある各病院を連携施設とした研修プログラムです。研修期間は基幹施設2年間+連携施設1年間の3年間になります。また、産前産後休暇等で研修を中断し、再開する場合は、短時間勤務等の柔軟な対応が可能です。ご相談ください。

02 研修体制

本プログラムでは、症例をある時点で経験するというだけでなく、主担当医として入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで可能な範囲で、経時的に診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践して頂きます。具体的には、外来やER当直で担当した患者は、科を越えてそのまま入院を担当し、退院後の通院も原則担当して頂きます。

03 基幹施設での研修

基幹施設である上尾中央総合病院は、年間救急車搬入台数1万台弱、独歩患者数2万人弱のERをもち埼玉県県央医療圏を越えて広域に救急患者が訪れる救急医療の中核病院です。内科専攻医は2年間、ER当直を行い、救急科指導医(救急科専門医以上)の指導の下、救急研修を行い「内科系救急医療の専門医」として必要十分な経験を積むことができます。

また、上尾中央総合病院は地域がん診療連携拠点病院であり、がんの診断、抗がん剤治療、緩和ケア治療、放射線治療、内視鏡検査・治療など、幅広いがん診療も経験できます。

04 連携施設での研修

連携施設の各医療機関での研修では、地域の特性とその病院の地域での役割を学習して頂きます。また、基幹施設である上尾中央総合病院では経験困難な、より患者と地域に近い立場での医療を経験します。すなわち、コモンディーズの経験をすると同時に、在宅診療や中核病院との病病連携や、診療所と中核病院との間をつなぐ病診・病病連携の役割を経験して頂きます。

研修先は連携施設先の受け入れ状況、研修診療科によって異なりますが、基本的には専攻医自身の希望に沿って選択することが可能となっております。

05 サブスペシャリティへの対応

専門研修の3年次は自由選択期間とし、将来専攻するサブスペシャリティを中心としたローテートを可能としており、基幹施設である上尾中央総合病院に限らず、専門研修施設群での研修も可能です。基幹施設である上尾中央総合病院1年間と専門研修施設群での1年間(専攻医2年修了時)で、「研修手帳(疾患群項目表)」に定められた70疾患群200症例を経験することが目標ですが、未経験の症例については、選択期間(専攻医3年次)のうちに経験できるようにローテートを行います。原則3年間で「研修手帳(疾患群項目表)」に定められた70疾患群200症例以上の経験をすることとなっておりますが、諸般の事情を考慮して少なくとも通算で56疾患群、160症例以上を経験し、専攻医登録評価システム(J-OSLER)に登録します。

連携施設

連携施設のご紹介

1～9番の施設に関しては、**基幹型施設同士の連携**となっております。



1 帝京大学医学部附属病院

所在地：東京都板橋区加賀2-11-1
病床数：1078



2 日本大学医学部附属板橋病院

所在地：東京都板橋区大谷口上町30-1
病床数：990



3 埼玉医科大学総合医療センター

所在地：埼玉県川越市 鴨田1981
病床数：1053



4 東京大学医学部附属病院

所在地：東京都文京区 本郷 7-3-1
病床数：1217



5 久留米大学病院

所在地：福岡県久留米市旭町67
病床数：1018



6 三井記念病院

所在地：東京都千代田区神田和泉町1
病床数：482



7 戸田中央総合病院

所在地：埼玉県戸田市本町1-19-3
病床数：517



8 東京医療センター

所在地：東京都目黒区東が丘2-5-1
病床数：780



9 浦添総合病院

所在地：沖縄県浦添市伊祖4-16-1
病床数：334



10 津田沼中央総合病院

所在地：千葉県習志野市谷津1-9-17
病床数：314



11 三郷中央総合病院

所在地：埼玉県三郷市中央4-5-1
病床数：289



12 柏厚生総合病院

所在地：千葉県柏市篠籠田617
病床数：322



13 船橋総合病院

所在地：千葉県船橋市北本町1-13-1
病床数：246



14 白岡中央総合病院

所在地：埼玉県白岡市小久喜938-12
病床数：256



15 笛吹中央病院

所在地：山梨県笛吹市石和町四日市場47-1
病床数：150



16 JCHOさいたま北部医療センター

所在地：埼玉県さいたま市北区宮原町1-851
病床数：163